

高速自動車国道以外の道路については前記のほか、トンネルおよび橋ならびに渡船施設、道路用エレベータその他の政令で定める施設を通行または利用する人からも料金を徴収することができる。

(4) 収入の帰属 高速自動車国道および1・2級国道の新設または改築、公団の行う有料の1級国道の維持・修繕等の特例などにもとづく料金および道路法の準用規定にもとづく占用料ならびに道路に関する費用についての道路法の規定（ア 原因者負担金 イ 受益者負担金 ウ 附帯工事に要する費用 エ 他の工作物の管理者の行う道路に関する工事に要する費用 オ 道路の占用に関する工事の費用）の準用にもとづく負担金はすべて、日本道路公団の収入となる。

道路管理者の行う有料の道路の新設または改築による料金は当該道路の道路管理者の収入となる。

2 自動車道事業による有料道路

道路運送法第47条から第74条までの規定は自動車道事業について規定したもので、この事業は自動車の通行または利用を対象とし、この事業を営もうとする者は運輸大臣および建設大臣の免許を受けなければならない。また同法第61条では一般自動車道の使用料金を定め、運輸大臣の許可を受けなければならないと規定されている。さらに同条第2項および第3項では運輸大臣は使用料金の認可をしようとするときは、つぎの基準によってしなければならないと規定している。

(1) 能率的な経営の下における適正な原価を償い、かつ適正な利潤を含むものであること。

(2) 特定の使用者に対し不当な差別的取扱をしないこと。

(3) 使用者の使用料金負担能力を考慮し、使用者の事業遂行を困難にしないような料金を定めること。

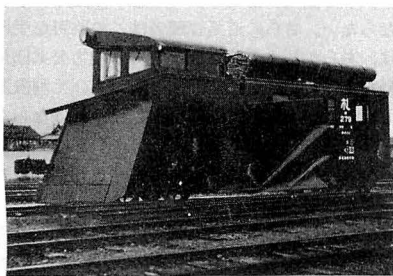
また使用料金については、定額をもって明確に定めなければならないことになっている。（鈴木幸二）

ゆきかきしゃ 雪かき車 (英) snow-plough car (独) Schneepflug 除雪を目的とする貨車。国鉄の車両称号規程による事業用貨車で記号は「キ」を用いる。降雪量の多い地帯に専属車として常備駅が定められている。昭和31・3現在保有両数283。

1 種類

(1) ラッセル雪かき車 Russel snow-plow

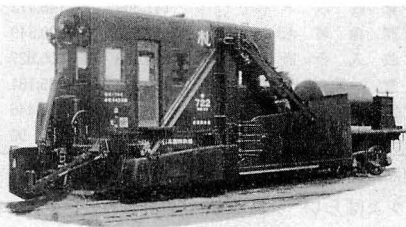
1886年米人ラッセルの発明になるものでわが国では1911年アメリカのラッセル・アンド・スノウプロウ会社より購入し、翌年北海道で使用したのが最初である。この車はくさび形の頭部を有しており、機関車に推進されて雪中に頭を突き込み、頭部のくさび作用で雪を押し分けるとともに、頭部の登り斜面にそって雪をすくい上げ、後側面へはね飛ばす。これに単線用と複線用とあり、前者は頭部が両側へくさび形になっており、雪を両側へはね飛ばすもの、後者は頭部が片面の方向にだけそげていて、雪を線路のない方（進行方向の左側）にだけねのける。フランジャー・砕氷器・翼などの付属装置があり、これらはすべて圧縮空気シリンダの作用により、車体前部の操縦室内で操作される。また線路上に働く除雪従事員に注意



1. ラッセル雪かき車 (形式キ100)

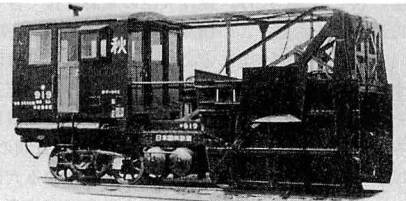
するためと、推進機関車の機関士との連絡用として、前後に各1個の笛をとりつけてある。この雪かき車は、除雪が比較的少量で、線路付近にまだ積雪が少ないとき、またはにわか吹雪寄せた吹きだまりを排雪する必要があるときに使用されるが、積雪が1m以上におよんだり、深い吹きだまりができると使えなくなる。翼を開いたときの最大除雪幅は単線用・複線用とも4.5mである。

(2) 広幅雪かき車 Jordan snow-plow
築堤上や駅構内などで雪を幅広く（最大幅7m）押しのけるを目的として作られた雪かき車で、ジョルダン雪かき車ともいう。車の前面に上下できる延べすき、両側に前すき、主翼があり、台わく上に運転室・翼を開閉する空気シリンダ等を設備している。翼は長いから、台わく上の門構からつてある。延べすきとはもっぱら構内除雪の場合に使用する。深い積雪の場合には抵抗が大きくなるから、幅広く翼をひろげて推進できない。



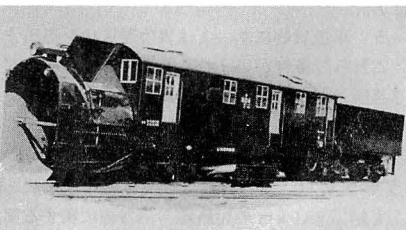
2. 広幅雪かき車 (形式キ700)

(3) かき寄雪かき車 Mackley's snow-plow car
元札鉄工作課長羽島金三郎が実用化したもので、最初の着想者の名をとって、マックレー雪かき車ともいう。台わく後尾に逆八の字形の翼があり、使用するときは翼を後方に張り出す。他の雪かき車とは反対に、両側の雪壁を幅広く（最大幅5,400mm）切くずし線路の中央にかき集めて進んでゆく。したがって他の雪かき車は機関車に推進されるのであるが、この雪かき車は機関車に引張られて、すでにラッセル雪かき車で切取られた雪の切取の中を進み、両側の雪壁を広く切開いてゆく。そしてこの雪かき車のつぎに、回転雪かき車を後続させ、線路上に積んでいった雪を雪壁をこして遠くへ投げ飛ばす。新しいかき寄雪かき車には段かき装置がある。



3. かき寄雪かき車 (形式キ900)

(4) 回転雪かき車 rotary snow-plow
1869年米人エリオットの発明になるもので、ロータリー雪かき車ともいい、わが国では1923年にアメリカン・ロコモティブ会社より購入したのが最初である。車の前頭に円筒に入った風車様の回転車があり、これで雪をかきとり、遠心力により線路外遠方へ投げ飛ばして除雪するのに用いられる雪かき車である。羽根車の回転は車室内にボイラとエンジンが備えてあり、かさ歯車により回転が伝えられる。この原動機は羽根車の回転



4. 回転雪かき車 (形式キ620)